

2. 小松・加賀・あわら地区の概要

小松・加賀・あわら地区は、石川県と福井県にまたがる、日本海に面した面積約 437km²の地域で、ラムサール条約登録湿地の片野鴨池や越前加賀海岸国定公園の北部を含む地域です(図-1)。

調査地域の中央部に位置する加賀市街地の北西にある片野鴨池は、1993(平成5)年に「ラムサール条約」の登録湿地として認定され、さらに「越前加賀海岸国定公園」第一種特別地域に指定されています。ここには、マガンやトモエガモ、オオヒシクイ等の鳥類が飛来してきます。越前加賀海岸国定公園は、石川県加賀市から福井県敦賀市に至る日本海沿岸部を中心とした国定公園(1968(昭和43)年指定)であり、今回湖沼調査を行った北潟湖、柴山潟、木場潟のうち北潟湖と柴山潟が同国定公園内に含まれています。

小松・加賀・あわら地区は、東北部に小松平野、東南部に能美山地、西南部に加越台地と福井平野北端部、海岸沿いには小松砂丘や江沼砂丘が分布し、中央部には江沼平野や江沼丘陵等が位置しています。小松平野には柴山潟と木場潟が、また加越台地には北潟湖が位置しています。

この地域の気候は、日本海沿岸式の気候で、冬は曇りがちで雪の日が多いですが、気温は対馬海流の影響を受け比較的温暖です。また、全国的にも降水量の多い地域となっています。

地域の人口は、小松市(109,374人)、加賀市(74,948人)、あわら市(31,006人)となっています。(平成20年版 全国市町村要覧)

この地域の主な産業は、建設機械業、観光産業、農業等となっています。

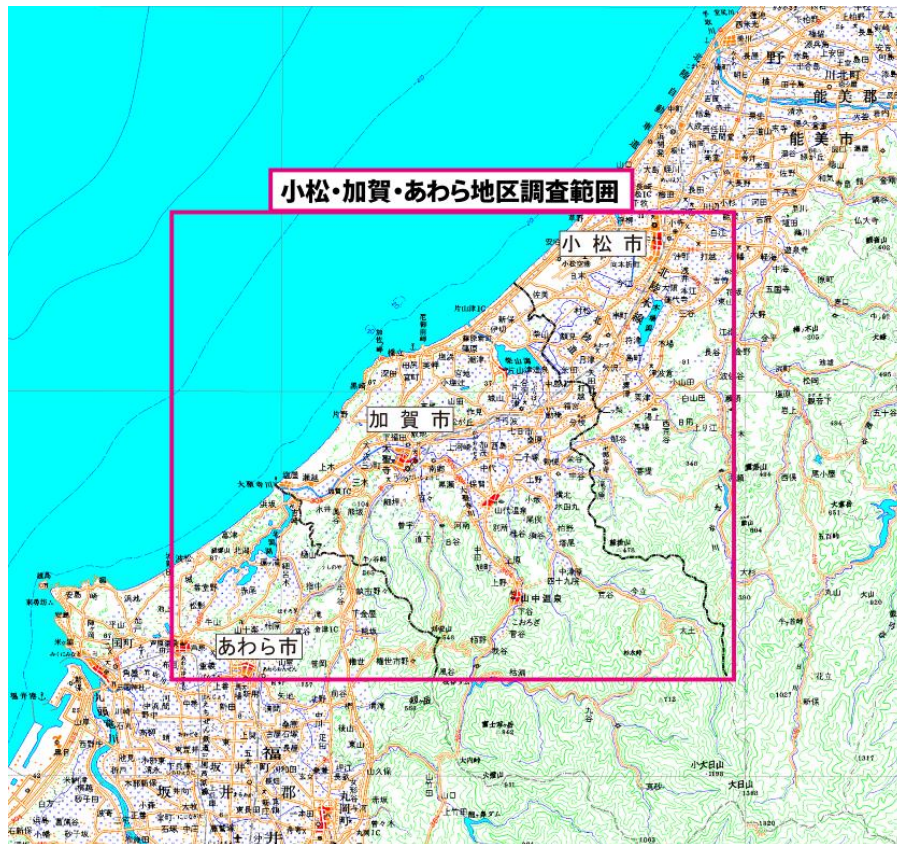


図-1 小松・加賀・あわら地区の位置